

2. 分野別状況 (2) 地域活性化総合特区 ② ライフ分野

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
岡山型持続可能な社会経済モデル構築総合特区(A AAシティおかやま) (岡山市)	4	3.7 進捗度 ・介護保険給付費の抑制 58% ・最先端介護機器等の活用による産業振興 107% ・在宅高齢者の増加とQOLの向上 94% ・生涯現役社会づくりの推進 50%	4.1 規制の特例等 ・地域活性化総合特別区域介護機器貸与モデル事業 ・訪問介護・訪問介護事業者に対する駐車許可簡素化事業等 財政支援等 ・老人保健健康増進等事業 地域独自の取組 ・医師向けの在宅医療に関する研修会の実施等	4	<p>・インセンティブ事業やアウトカムの積極的な評価など興味深い取組が続けられているが、事業者の事務作業負担を軽減する工夫を行うことが取組の持続可能性や一層の拡大には重要だと思われる。</p> <p>・個別領域において達成度合いに多少のバラツキはあるものの、全体としては十分な成果が上がっているように思われる。</p> <p>・市民の実生活に直結した具体的数値目標を使用しているため他所に比べ自己評価が低いだが、取組の内容はどれも充実しており、評価を高くした。継続的な取組を期待したい。</p> <p>・評価指標(1)に関しては、目標値に未達であるものの、利用者の状態像改善を伴う介護給付費の抑制を目指す取組であるというその方向性を含めて評価したい。</p> <p>・評価指標(4)は一定の成果を上げたものと評価する一方で、注目の高さを生かし今後の一層の推進に期待したい。</p>